

酒類・加工食品業界の業務効率化と標準化推進をめざす [ファイン・ファイネット]

FINE FINET

[NEW YEAR TOP MESSAGE]

平成27年 年頭にあたって

株式会社ファイネット

代表取締役社長

細見 典男

[FINET FEATURE ARTICLES]

さらなる業界発展のために

一般社団法人日本加工食品卸協会

専務理事

奥山 則康 様

株式会社ファイネット

代表取締役専務

小原 応孝

[HELPDESK NEWS]

送受信状況照会リプレイス

～検索可能期間を2週間前から2か月前に拡張!～

[FINET INFORMATION]

「データ着信メール通知機能」サービス開始

～データ着信をメールにてお知らせします!～

Vol. **33**
2015 Winter
ファイネット発行

平成27年 年頭にあたって



代表取締役社長 細見典男

会員企業の皆様、新年明けましておめでとうございます。

旧年中は、ファイネットの事業に一方ならぬご支援を賜り心より御礼を申し上げます。

弊社は、昨年来、サービス品質向上に向けた取組みを継続的に推進してまいりました。

障害を起こしにくいシステムや体制構築のみならず、障害の未然防止に向けた予兆検知や監視を強化するとともに、皆様への迅速で正確な情報提供を目的にVANサービスを対象にした「障害管理サイト」を昨年6月に開設いたしました。

また、昨年10月には、商品流通VANサービス料金を平均7.1%値下げする料金改定を実施いたしました。少しでも皆様のコスト削減の一助になればと考えております。

酒類・加工食品業界は、円安や諸要因によるコスト増や消費者の節約志向もあり依然として厳しい販売競争を余儀なくされています。皆様のインフラを担う企業として、新技術の導入や新サービスの提供に今後も努力してまいります。

最後に、今年は、皆様のお蔭をもちまして創業30年目の節目を迎える年となります。全社員一丸となり、社業に邁進する所存でございます。

本年もよろしく願いいたします。

さらなる業界発展のために

新春対談として、一般社団法人日本加工食品卸協会（日食協）の奥山専務理事をお招きして、弊社専務の小原と「酒類・加工食品業界の発展」を目指して行ってきたこれまでの活動、これからの活動について、意見交換をさせていただきました。（本文敬称略）



【出席者】左より

一般社団法人日本加工食品卸協会 専務理事 **奥山 則康** 様
株式会社ファイネット 代表取締役専務 **小原 応孝**

【司会】株式会社ファイネット 恒吉 正浩

協も食品流通の健全な取引環境を目指して、卸売業の「協調」と「連携」を推進している団体です。そのなかで、卸売業のメンバーと、賛助会員であるメーカーの方々と、どのような良い連携ができるかを常に考えながら活動をしてきました。

小原 協会と事業会社という違いはあれ、酒類・加工食品業界で同じように協調、連携を追求していく者として、すごく近い存在だと常日頃から思っていました。今日、新春企画ということで対談が実現して、大変感謝しています。

長期経営計画に込めた思い

——現在の重点的な取組みについてお話しください。

小原 当社は今年度、長期経営計画を発表しました。長期ミッションとして「酒類・加工食品業界の永続的な繁栄のために」、長期ビジョンとして「すべてはファイネットに通じることを目指す」をキーワードに、「業界貢献」「すべてをつなぐ血管のような存在」という思いをこの経営計画に込めました。

受発注や出荷案内といった標準化されたEDIの推進

協調と連携を推進する

——業界全体の発展に尽力する日食協とファイネットは多くの共通点があるかと思います。まずはお二人の歩みと現況について教えてください。

小原 私は2014年6月に現職に着任しました。これまでほぼメーカーの営業畑を歩いてきました。営業はいわゆる「競争領域」ですが、受発注や販促金処理、販売実績管理等の営業にかかわる業務は随分変化し、効率化してきたことは間違いありません。これまで不勉強でその背景をあまり深く考えたことがありませんでしたが、着任以降、日食協さんや当社の事業にかかわってこられた多くの先輩方のご努力があってここに至ったということ強く認識しました。着任してからの6ヵ月、「協調」や「連携」の重要性を日々実感しながら仕事をしています。

奥山 私は日食協に赴任して10年になりますが、日食



奥山 則康 様

国分株式会社の経理部長、取締役人事部長を経て、2003年より日食協の専務理事。日食協の事務局運営をするとともに、農林水産省をはじめとする多くの行政機関の検討会でもメンバーとして活躍している。

は軌道に乗っていると思います。ただし、卸売業とメーカーの間の情報のすべてをつなぐということでは、まだまだできていない部分が多いと感じています。特に、「EDIにならない情報のメーカー、卸売業間での共有」や、「メーカーの物流子会社や委託物流会社を挟んだデータ交換」については、今後、協調、連携を進めるうえでも取り組むべき大きなテーマだと思っています。



小原 応孝

奥山 日食協では、EDIワーキンググループや情報システム研究会、物流問題研究会といったさまざまな場で、協調や連携による合理化、効率化のテーマを検討しています。その成果として、標準EDIフォーマットや酒類食品統一伝票、販売促進金請求書といった業界

の統一ルールが策定され、実行されています。

小原 当社でも2003年から酒類・加工食品標準化推進会議を運営し、メーカーと卸売業間の業務の標準化を検討してきました。そのなかには2013年度まで行っていた「日食協フォーマット個別対応標準化検討部会」といった、日食協さんが制定した標準EDIフォーマットの入力ルールの統一化のように、日食協さんの活動と密接に関係するテーマが多く含まれています。

2014年11月にも標準化推進会議を開催しました。そのなかで、標準化というキーワードのもとで、卸売業とメーカー、あるいはメーカー同士が連携をして、業界の効率化のためにみんなで検討している姿を見ました。皆さんが貴重な時間を割いて業界のために議論している姿に感銘を受けると同時に、事務局として責任を再認識いたしました。

——日食協の組織としての特色や強みはありますか。

奥山 日食協の取組みの特徴は、各卸企業のトップが指名した意志決定者が集まっており、研究や検討内容やその結果を速やかに実現できる体制ができているということがあげられると思います。ただし、協会自身が本当に

実装となった場合の機能を持っているわけではありません。ファイネットさんは標準化を検討するだけでなく、実現する機能も持った貴重な団体、企業だと思っています。

小原 おっしゃる通り当社は、VANを中核に情報系のインフラを持っていますし、標準化推進会議という検討の場も運営させてもらっていますが、逆に業界全体に標準化されたモノを普及させる力は十分ではないと思っています。そのため、日食協さんが決定したことを私たちが実装し、さらに日食協さんが推奨、推進するという役割分担で創られたサービスが多いと思っています。この連携こそが、これまでとても良い効果を生んできているのではないのでしょうか。

経理業務の効率化のために

——情報システム部門だけではなく、経理部門とも連携させたプロジェクトも推進していますね。

奥山 直近でも、経理業務で非効率だった「販売促進金請求書」の郵送作業を、日食協メンバーの発案でファイネットさんがサービス化した「PDF変換サービス」という事例もありますね。これは、受発注のEDI化と同じく、業務改善の画期的な突破口だと思っており、大変評価しています。このサービスの拡充も検討されていると聞いているので、期待しているところです。

小原 評価していただき、感謝します。PDF変換サービスは、当社としてはFDB以来の新しいサービスです。新たなテーマにもかかわらず、日食協さんとの密なる連携で実装がスムーズにできました。また業界の標準機能として、皆さんの効率化に大きく貢献できていると感じています。

その拡充とともに、さらに業界の業務効率化や高度化につながる新たなことにチャレンジしていきたいと思っています。

奥山 販売促進金請求書の郵送作業のように、同じ業務を各企業が独自の方法でやっているということは、まだまだあると思います。これらのなかで優先順位を付けながら、標準化して合理化していくことは卸売業にとって重要なテーマです。

実は経理業務の標準化に関しては、PDF変換サービスの拡充の検討をファイネットさんから相談されるなかで、まだまだ合理化のテーマがあると思い始めました。そこで「経理業務標準化協議プロジェクト」をスタートさせました。

小原 当社もそこに事務局として参画させていただいた

と聞いています。ぜひ、協力してプロジェクトを進めていきたいですね。

物流と災害対策の課題

——物流関連について、メーカー・卸との取組み状況はどうですか。

奥山 物流での課題が重たくなってきているので、物流問題研究会やメーカーの物流担当者を招いて物流合理化懇談会等を行っています。物流に関しては卸売業側からの提案が重要と考えており、納品時間の緩和についての検討を始めました。また、荷下ろし時間の短縮のための試験的な取組みや、即席麺業界へのパレット出荷の依頼も行っています。

物流の課題の多くは情報とセットで考えていく内容が多いので、ぜひ、ファイネットさんの立場でも検討してもらい、有意義な提案をしてほしいと思っています。

小原 当社でも最初に申し上げたとおり、物流会社の絡んだ情報交換、データ交換について、標準化やEDI化の検討をしたいと考えています。メーカーや物流会社からの賞味期限付きの出荷情報を卸のセンターに提供できた時にどのような効果があるか、などの具体的なテーマについて、標準化推進会議の参加企業のメンバーで検討を始めました。ぜひ、良い検討ができ、業界全体の効率化につながる結論が出てくればと思っています。

——災害発生時の対応策としては、業界としてどのように準備していますか。

奥山 東日本大震災から時間が経ってきましたが、災害時の食料供給を安定的に行うために、卸売業とメーカーの連携の仕方をきちんと検討しておく必要があると思っています。災害時の食料品の在庫や供給に関する情報交換のあり方も、そのなかの大きなテーマだと捉えています。

小原 その問題意識はメーカーも同じだと思います。そのため、標準化推進会議メンバーにアンケートを取り、意見を聞いてみました。当社でもまだ十分整理ができていませんが、何をしなくてはいけないかを検討したいと思っています。

奥山 災害発生時に食料供給をきちんと行うことは、食品メーカーと食品卸売業の重要な使命であると考えています。ぜひ一緒になって、良い方向を模索してほしいと思います。

業界の発展のために協力していく！

——業界への情報発信についてはいかがですか。

奥山 日食協としては先ほどからお話ししている様々なテーマに関して、賛助会員メーカーへのアプローチを行っていますが、現在の会員は大手メーカーを中心とした130社ほどに止まっております。さらに広く、業界全体に課題や提案を発信したいと思い、日食協会報のメーカーへの配布を拡大させています。ファイネットさんは1200社のメーカーとの関係を持っていますので、この部分でも何らかの協力体制ができないかと思っています。

小原 卸売業各社や日食協さんとメーカーをつなぐ、先ほどお話しした情報ツールも当社の検討テーマの一つです。これが日食協さんからの発信の一助になればと、今、強く思いました。

奥山 卸売業を取り巻く環境はさらに厳しさを増しています。経理の課題も物流の課題も災害時の課題も、卸売業自身の業務改革を行うとともに、メーカーへの発信、メーカーの協力がさらに重要となってきています。

日食協はいくつかの検討会、研究会を持って、様々な合理化、効率化の検討を行っています。また各卸の企業もそれらの検討の場に多くの人材を投入してくれています。ファイネットさんはシステムや人材を含めた多くの機能を持っているので、より一層のサポートをお願いします。

小原 日食協さんはそういった検討の場とともに、それを発信する力を持っています。メーカーに対しての発信力だけでなく、行政に対しても強い発信力を持っています。この点は当社よりはるかに大きな力だと思っています。

今年度、初めて当社は農林水産省の補助事業を行っていますが、その受託の背景には日食協さんと農林水産省の密接な関係があったからだと思います。当社としては新たな取組みであり、標準化活動への強力な推進力となるとともに、行政との関係構築ができるこの事業を活かしていきたいと思っていますし、そういう機会を創っていただいた日食協さんにとっても感謝しています。

奥山 ぜひ今後も、お互いの力を併せて、その相乗効果を発揮して、業界の発展に寄与していきたいですね。

日食協 一般社団法人日本加工食品卸協会。1977年設立。加工食品流通の近代化、効率化に関する調査研究、加工食品の卸売業の構造改善の促進、加工食品に関する知識の普及啓発等を行うことにより、加工食品流通の近代化と経営の合理化を図り、もって加工食品の安定供給と国民生活の向上に資することを目的とした団体。会長は国分株式会社代表取締役会長兼社長国分勤兵衛氏。

送受信状況照会リプレイス

～検索可能期間を2週間前から2ヵ月前に拡張！～

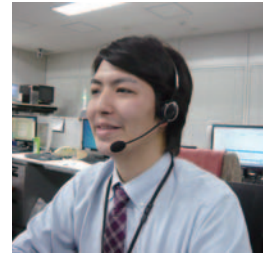
商品流通 VAN サービスでは、データ交換の送受信状況をユーザー様が Web でご確認いただけるサービスとして、「送受信状況照会」を提供しております。

今回は、2014年11月21日(金)よりリプレイスされた「送受信状況照会」についてご紹介いたします。

こんな事でお困りではありませんか？

- ・取引先からのデータ送信状況を確認したい。
- ・送信したデータが正常に処理されたかを確認したい。
- ・送信したデータの相手受信状況を確認したい。

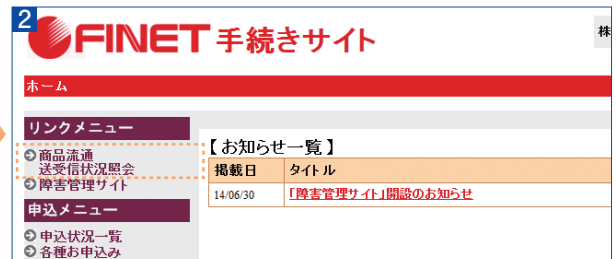
そのような時は、「送受信状況照会」をご活用ください！



ご利用方法と改善点



①「送受信状況照会」は、手続きサイトからご利用いただけます。



②ホーム画面のリンクメニューより、「商品流通送受信状況照会」をご選択ください。

| 日付 | 自社ステーション | 相手ステーション | データ種 | サイクル | 開始日付 | 開始時刻 | 終了時刻 | 振分処理 | レコード件数 | サイクル | 開始日付 | 開始時刻 | 終了時刻 | | | |
|------------|----------|--------------|-------|------|------|------|------|------------|----------|----------|------|---------|------|------------|----------|----------|
| 2014/10/02 | A00004 | 〇〇商事4 M00004 | 〇〇食品4 | ホスト | 01 | 受発注 | 0016 | 2014/10/02 | 11:06:11 | 11:06:13 | 処理済 | 0000068 | 0005 | 2014/10/02 | 11:40:20 | 11:40:37 |
| 2014/10/02 | A00005 | 〇〇商事5 M00005 | 〇〇食品5 | WEB | 01 | 受発注 | 0015 | 2014/10/02 | 11:01:48 | 11:01:49 | 処理済 | 0000009 | 0000 | 2014/10/02 | 11:18:09 | 11:18:09 |
| 2014/10/02 | A00002 | 〇〇商事2 M00002 | 〇〇食品2 | ホスト | 01 | 受発注 | 0014 | 2014/10/02 | 11:00:07 | 11:00:08 | 処理済 | 0000049 | 0019 | 2014/10/02 | 11:03:03 | 11:03:08 |
| 2014/10/02 | A00005 | 〇〇商事5 M00005 | 〇〇食品5 | WEB | 01 | 受発注 | 0013 | 2014/10/02 | 10:55:02 | 10:55:03 | 処理済 | 0000012 | 0000 | 2014/10/02 | 11:31:02 | 11:31:02 |
| 2014/10/02 | A00003 | 〇〇商事3 M00003 | 〇〇食品3 | ホスト | 01 | 受発注 | 0012 | 2014/10/02 | 10:54:30 | 10:54:31 | 処理済 | 0000042 | 0022 | 2014/10/02 | 10:55:09 | 10:55:20 |
| 2014/10/02 | A00001 | 〇〇商事1 M00001 | 〇〇食品1 | ホスト | 01 | 受発注 | 0011 | 2014/10/02 | 10:49:04 | 10:49:05 | 処理済 | 0000047 | 0018 | 2014/10/02 | 10:50:32 | 10:50:44 |
| 2014/10/02 | A00002 | 〇〇商事2 M00002 | 〇〇食品2 | ホスト | 01 | 受発注 | 0010 | 2014/10/02 | 10:47:59 | 10:48:00 | 処理済 | 0000024 | 0002 | 2014/10/02 | 11:10:55 | 11:11:19 |
| 2014/10/02 | A00004 | 〇〇商事4 M00004 | 〇〇食品4 | ホスト | 01 | 受発注 | 0009 | 2014/10/02 | 10:46:54 | 10:46:55 | 処理済 | 0000053 | 0007 | 2014/10/02 | 11:05:08 | 11:05:14 |
| 2014/10/02 | A00001 | 〇〇商事1 M00001 | 〇〇食品1 | ホスト | 01 | 受発注 | 0008 | 2014/10/02 | 10:46:06 | 10:46:06 | 処理済 | 0000018 | 0007 | 2014/10/02 | 11:10:08 | 11:10:08 |
| 2014/10/02 | A00005 | 〇〇商事5 M00005 | 〇〇食品5 | WEB | 01 | 受発注 | 0007 | 2014/10/02 | 10:42:58 | 10:42:58 | 処理済 | 0000007 | 0000 | 2014/10/02 | 11:29:29 | 11:29:29 |

③「送受信状況照会」が表示されます。

【4つの改善ポイント】

- POINT1** 検索可能期間を2週間前から2ヵ月前までに拡張しました（一度に検索できる範囲は2週間となります）。
- POINT2** データ種の検索条件にて、「全て（送信データ）」「全て（受信データ）」が選択できるようになりました。
- POINT3** ダウンロードしたCSVファイルに相手ステーションの接続形態（ホスト/WEB）を追加しました。
- POINT4** 最後に行った検索条件が自動保存されるようになりました。

お問い合わせは、ファイネット ヘルプデスク (☎0120-091-094) までご連絡ください。

「データ着信メール通知機能」 サービス開始

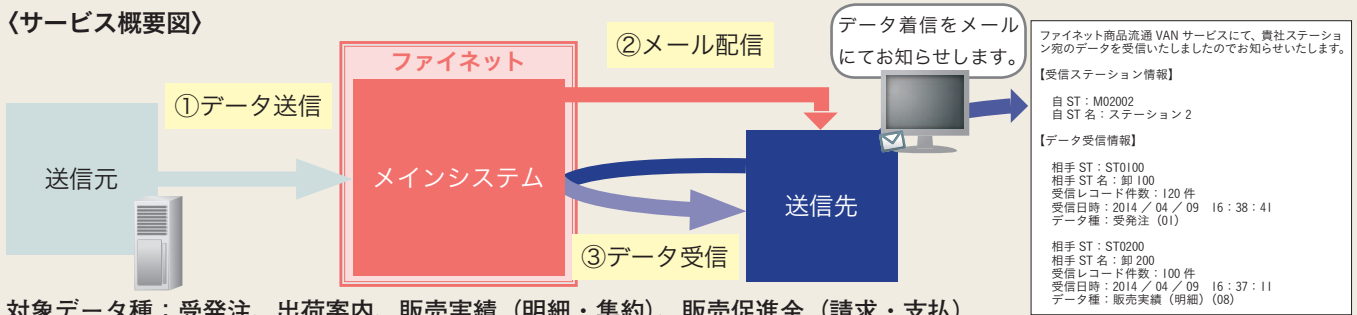
～データ着信をメールにてお知らせします！～

ファイネットでは、商品流通VANサービスの機能強化、およびユーザー様の利便性向上を目的として、2014年9月5日（金）より、「データ着信メール通知機能」のサービスを開始しました。より一層の業務効率化に向けて、ぜひご活用ください。

▶ サービス概要

商品流通VANサービスにおいて、データ着信時に送信先ユーザー様に対してメールにてお知らせする機能となります。

〔サービス概要図〕



対象データ種：受発注、出荷案内、販売実績（明細・集約）、販売促進金（請求・支払）

〔データ着信メール通知機能の流れ〕

- ①送信元ユーザー様より、データがファイネットVANに送信されます。
- ②ファイネットVANにて振分処理後、送信先ユーザー様にデータ着信のお知らせメールを発信します。
- ③送信先ユーザー様は、メール内容をご確認のうえ、データの受信を行います。

▶ メリット

送信元ユーザー様からのデータ着信時にメールが届くので、データを受信できるタイミングが分かるようになります。

▶ 設定方法

「データ着信メール通知機能」のご利用にあたっては、事前にユーザー様にて設定をしていただく必要があります。

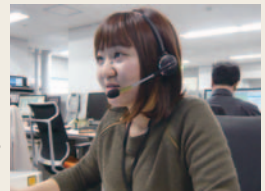


〔設定方法〕

- ①手続きサイトのホーム画面より、「商品流通データ着信メール通知設定」メニューを押下します。
- ②通知設定を行うステーションコード欄の「変更」ボタンを押下します。
- ③通知先を設定します。

ご不明な点がございましたら、私たちファイネット ヘルプデスクまでお気軽にお問い合わせください。

0120-091-094 (受付時間 7:30～23:00)



FDB サービス メールアドレス変更のお知らせ

このたび、サービス基盤における品質向上の取組みの一環として、1月12日（月）より、FDB（商品情報DBサービス）にて、ご利用いただいておりますメールアドレスを変更させていただきます。

誠に恐れ入りますが、アドレス帳などのご変更をよろしくお願いたします。

〈変更内容〉

① FDBサポートセンターへのお問い合わせメールアドレスが変更

【変更前】 fdb-support@tpk.toppan.co.jp

【変更後】 fdb-support@toppan.co.jp

② FDBシステムから自動送信する際の送信元メールアドレスが変更

【変更前】 fdbsys@tpk.toppan.co.jp

【変更後】 fdbsys@toppan.co.jp

【お問い合わせ先】

〔FDBサポートセンター〕

 **0120-388-094**

（月～金9:30～17:30 祝日、年末年始、夏季休暇を除く）
（運用管理部）

ユーザーアンケート調査を実施いたします

弊社では2年ごとに商品流通VANサービスおよびFDBサービスのユーザー様を対象に、サービスのご利用状況についてのアンケート調査を実施しております。アンケートの発送は1月下旬を予定しております。

ご多忙の折、大変恐縮ではございますが、アンケート調査にご協力くださいますよう、よろしくお願申し上げます。

（営業推進部）

会社休業日のお知らせ

弊社は、右記の通り会社休業日となります。ご迷惑をお掛けいたしますが、何卒ご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。

なお、ファイネット ヘルプデスクは通常通り稼働しておりますので、お問い合わせの際は、ご利用ください。

【会社休業日】

平成27年2月20日（金）

〔ファイネット ヘルプデスク〕

商品流通VAN・資材VAN

 **0120-091-094**

（年中無休7:30～23:00）

（総務部）

FINE FINETの送付先等の変更について

今回、ご送付いたしております「FINE FINET（ファイネット）」の宛名や部数等についてご変更がございましたら、右記までご連絡ください。

【ご連絡先】

株式会社ファイネット 営業推進部 TEL.03-5643-3450

（総務部）



FINE FINET（ファイネット）
Vol.33 2015 Winter 2015年1月1日発行

〔発行〕（株）ファイネット 東京都中央区日本橋兜町13-2 兜町偕成ビル（本館）7F 〒103-0026
Tel.03-5643-3400 Fax.03-5643-3499

〔編集・発行責任者〕小原 応孝



<http://www.finet.co.jp>